



月刊

社協だより

平成29年
1月号

発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826



江戸時代の名勝を発見

今から二百年前の文政二年（1819）に発刊された「郡中国郡志（黒川蔵）」に狩留家の名勝として「天狗ノ休滝（やすみだき）」一カ所、「狐岩」一つ、「山豪嵐（やまごういわ）」一つ、「大槓」一本の四つの名勝が書かれている。その江戸時代の四つの名勝の内、「天狗の休滝」と「狐岩」が何所にあるのか分らなかった。

狩留家郷土史研究会（会長・天保光子）会員の内十二名は古文書の地図に示すあたりを探索して「天狗ノ休滝」の所在を再発見した。その岩は高鉢山の中腹にあり、道程は急峻であった。古文書に「立拾一間（高さ約二〇m）」、「横二十間（幅約三十六m）」と記されていたその巨岩の景観は、まさに滝の水が豪快に流れ下る様相の岩壁でした。この岩を発見した後、同じく所在不明になっていた「狐岩」の探索も試みたが発見できなかった。三月に再度「狐岩」の探索調査をする予定である。他にも湯坂の「たたら跡」の調査も予定している。

眠れる史跡の発掘は狩留家の資源の発掘という貴重な活動です。今後も続けていきたいものです。しかし、今後は眠っている資源を発掘する活動と共に狩留家をより魅力的な町に変貌させたい。



せる活動も必要です。今後ますます狩留家に魅力を持たせ、外からお客が狩留家に来たがるような町づくりの「新たな取組」が必要です。魅力的な町づくりで若い人が入ってきて、狩留家の急激な高齢化の進行や人口減少に歯止めをかけなければなりません。（会長記）

心地よいひとときを “おしゃべりカフェ” 誕生

毎週月曜日にぎやかな笑い声が

ここのとこ近所の方々とも何日も顔を見ることが話し声さえ聞こえてこない寂しさを感じていたころ、昨春 暖かさと共ににぎやかな笑い声が聞こえてくるようになりました。毎週月曜日の午前中、「生協のバスを待つ

とるんじやが、なかなか来んのんよ」冷たい石の上に座りながらのことです。「じゃあ、椅子出すから」そのあと「カフェ」誕生となりました。一週間の御無沙汰ながら、「元氣じゃった？」で始まり、腰が、足が、ひざが、の話が延々と。「綾小路きみまろのテー

中国新聞でも紹介

昨年中国新聞に取り上げていただいたおかげで、多くの方々から励ましの言葉、そして新たな出会い、つながりができました。このことを心より感謝します。

保育園でしめ縄づくり

狩留家保育園での「しめ縄づくり」に参加しました。しめ縄は大切な場所をまもるものです。新しい年の初めに玄関に飾り、神様がここに居て、災害や病気などの悪いことを追い払い、よいことは家の中に入ってもらおうように守ってくださいますよというお話を静かに聞き、いよいよ本番です。

最後に保育園用の大きな飾りが目の前で出来る様子を見て、大きな拍手と歓声です。お正月の歌をうたったり、かるたゲームをしたり、私たちも一足早くお正月気分を味わいました。



十二月資源ごみ売上 二万円